



1 崖観音からの絶景



2

3



4

5

6

上段) 2 活動実施者(千葉大学) 3 B.B.BASE 車内放送
下段) 4 B.B.BASE 4号車 5 レストラン BOUNO 6 atelier lab. 伝右衛門製革所

実施者

- ＜教員＞千葉大学 特任専門員 / 地域コーディネーター 阿部 厚司
- ＜学生＞千葉大学 工学部総合工学科デザインコース 2年 小出 芽生, 4年 細谷 風太
千葉大学 大学院 融合理工学府先進理化学専攻 生物学コース 1年 奥山 登啓, 1年 石井 和
千葉大学 理学部 物理学科 2年 佐々木 七菜
- ＜協働パートナー＞
- 【行政】千葉県 文化振興課 千葉県誕生 150 周年記念事業推進室
- 【企業等】株式会社 JTB 千葉支店
- 【個人】ヤマナハウス南房総三芳のシェア里山 副代表 沖 浩志, 合同会社 DIEM 代表社員 大阪谷 未久

1. 背景・目的

現在、地方で人口減少、少子高齢化、過疎化が進んでいるという現状は、都市部との経済格差や後継者不足などのさまざまな問題を引き起こすため解決すべき大きな課題となっている。こうした課題を解決するためには、地域特有の魅力を最大限に引き出し、再発見・再認識してもらうことが重要であると考えている。私は大学でデザインを専攻しているため、デザインの分野から地域の魅力を発信していくことを目標としている。そこで私は南房総エリアに着目し、南房総エリアで行われている、特徴を持ったさまざまな活動についてのリサーチ、創造を通して、南房総エリアの魅力を県内外問わず人々に伝えることを目的に活動している。

令和5年に千葉県は県誕生150周年を迎え、これを記念し株式会社 JTB 千葉支店企画の150周年記念関連イベント「千葉県誕生150周年記念 千葉の魅力発見ツアー」が開催される。そこでその中のコース「B.B.BASEで行く! 早春の南房総!! 特別な1日」に同行し、県内外からの多くの参加者に千葉県の文化を知ってもらうとともに、周辺観光地の魅力の発見・再認識、イメージのリサーチを通して県を訪れる観光客の増加につなげていくことが今回の目的である。

2. 実施内容

獣害被害対策・ジビエによる循環・地域資源活用・資源ロス対策など最近取り組んでいる安房エリアにおけるサーキュラーエコノミー視点による地域課題を考える取り組みの良き課外活動として、さらにはこれらをコンテンツに盛り込みながら地域の魅力を発信するサスティナブルツーリズム・レスポンシブルツーリズムというツアー造成の良き社会体験となった。

1) B.B.BASE

今回のツアーでは、両国駅から館山駅までの往復経路を

B.B.BASE 車両を貸切で使用した。列車内の4号車イベント車両においては、フラワートレインとして色とりどりの早春の花がディスプレイされ、さらに千葉大学デザイン文化計画研究室がデザインを担当し千葉県が展開する千葉の海ブランドデザイン「千波県」グッズとしてTシャツ・ポロシャツ・トートバッグ・ボトルなども展示され、参加者の皆様に「CHIBA」を楽しんでもらった。また、私は運行中の車内放送を一部担当し、九十九里浜エリア、かずさ・臨海エリア、南房総エリアについての概要と見どころや魅力を自身の経験も踏まえて発信した。

2) レストラン BOUNO

レストラン BOUNO で通常提供されるランチメニューに加えて、館山の名物料理のジビエ BBQ が提供された。ジビエ BBQ が提供されるにあたり、館山ジビエプロジェクトの説明があった。館山ジビエを取り巻く環境を循環するシステムの確立を目指し、館山の大きな地域課題である「獣害」を地域の絆で命を繋ぎ持続可能な未来へと繋げるため、以前はイノシシ駆除後活用することなく埋めるという処理をしてきたが、それをジビエ肉として消費するという形で活用することにより循環させる活動を実際にジビエ肉を食すことにより体験した。

3) atelier lab. 伝右衛門製革所

その後、館山駅近くに新しく出来たリノベーション施設「YANE TATEYAMA」にある工「atelier lab. 伝右衛門製革所」に移動し、普段から学ばせていただいているジビエレザー職人の大阪谷さんによる「ジビエレザーキーホルダー作りワークショップ」を体験した。このキーホルダーはデザイン文化計画研究室が長年研究している千葉沿岸部に伝わる漁師の晴れ着である「万祝」柄をモチーフにしたジビエレザーに150周年記念刻印付きの特別バージョンである。こちらの商品開発には同研究室所属でローカルエリアにおける獣害対

域学協働の工夫!

・特になし

策をテーマに研究している学生も関わりながら試行錯誤して作りあげたものである。いわばそのお披露目の場として参加者に作成アドバイスもしながら、獣害被害、地域資源活用などの問題意識も伝えた。館山ジビエプロジェクトの一環で、ジビエ肉としてだけではなく、産業廃棄物となる骨や革も余すことなく活用することでさらに循環させていこうという動きであり、実際にジビエレザーキーホルダー作りを体験した。

4) 道の駅三芳村部の里

12月にリニューアルしたばかりの道の駅で早春の花のディスプレイ展示、地元の生産者による新鮮な農産物の販売などが行われていた。

5) 大福寺(崖観音)

県内最古といわれる十一面観世音菩薩の磨崖仏があり、断崖の観音堂からは好天にも恵まれ、館山湾を一望でき、遠くには伊豆大島も望むことができた。

*表彰・マスコミ掲載など
・特になし

3. 成果と課題

(1) 地域貢献面

参加者との交流を通して、南房総エリアについての魅力を発信することができたと感じている。一方、参加者の方だけではなく、参加者の周りの私が直接関わっていない人々にも魅力をしっかりと伝えるようになることが課題である。

4. 今後の展開

今後は魅力を伝えることと並行し、地域の特性を活かした新たな魅力づくりを創造したい。